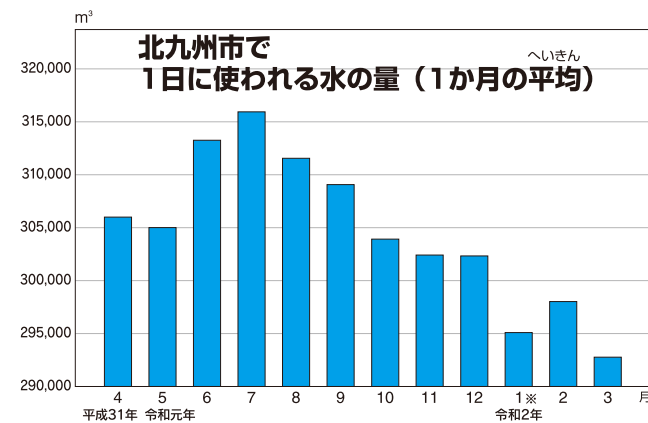


2 北九州市で使われる水の量 りょう

北九州市全体では、1日にどれくらいの水が使われているのだろう。

1日に使われる水は、学校のプールをますにしてはかると……

なんと
約 **1,450** ぱい分 やく



夏に
たくさんの
水を使うん
だなあ。

北九州市で1日に使われる水道の水は、約31万立方メートル、学校のプールで約1,450ぱい分にもなります。

しかし、水道の水は1年中同じように使われているわけではありません。寒い冬より暑い夏に、暑い夏のうちでも特に暑い日に、たくさんの水が使われます。

たとえば、令和元年7月4日には、1日に約34万立方メートル（学校のプールで約1,620ぱい分）の水が使われました。このように、水道の水の使われ方は、季節や気候によってちがうのです。

★指導上の留意点★

夏に水の需要が多いのは、プール、冷房、風呂、洗たく、庭木の散水などのためです。季節や気候などによって、グラフから水の使用量が違うことに着目させ、くらしと水との関係を考えてください。

※北九州市の1日の平均給水量は305,035m³（令和元年度）です。※小学校のプールの容量は、約210m³です。

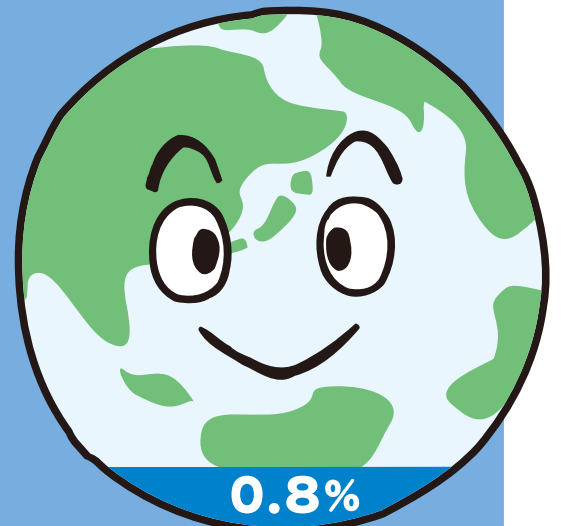
スippiーの

『知ってるかな?』コーナー

わたしたちが使える真水は
地球全体の水のわずか

0.8% です。 パーセント

約30億年前、この地球上に生命を生み出したのは水です。人間だけでなく、生き物すべてが、水なしで生きられないのはそのためです。しかし、地球にある水の約97.5%は海水であり、真水は約2.5%しかありません。しかも、この真水の約70%は、南極や北極地いきの氷です。地下水をふくめ河川や湖など、わたしたちのまわりで使うことができる真水は、全体のわずか0.8%しかないのです。



世界全人口の **5人に1人** が
安全な水を飲むことができないと言われています。

世界では、5人に1人が、安全な水を飲むことができず、その数は10億人をこすと言われています。水が原因の病気で年に200万人以上がなくなっているのです。

